

検索番号・
レファレンスコード

77691

寄贈資料
井上準之助
関係資料

IX 2(I)

日
記
(1)

滞米手紙日記

(その一)

明治42年1月20日
〜5月2日

77691

金融史資料

分類記号	IX
整理番号	2(1)
資料名	9. 11代総裁 井上準之助に 関する史料 (日記)
保管容器	口7

研30009

通貨、金融史料

分類	IB aヒ
整理番号	15(1)
受入番号	2597
名称	滞米手紙日記 井上準之助より 子代子夫人あて
備考	その1

シ7上

日記
(1)

滞米手紙日記

(その一)

滞米手紙日記

27691

金融史資料	
分類記号	I X
整理番号	2(1)
資料名	9. 11代総裁 井上準之助に 関する史料 (日記)
保管容器	口7

研30009

通貨、金融史料	
分類	IB a ヒ
整理番号	15(1)
受入番号	2597
名称	滞米手紙日記 井上準之助より 子代子夫人あて
備考	その1

シ7上

四十二年一月二十日

世立ノ間際ハ如何モ感ニ致セ候哉人間ノ一世ハ寧
ニ变化スル喜ブベシ大苦痛ノ後ニ大愉快アリ二年或ハ
三年ノ月日ハ^{短カキニサレタ}帰れ後ノ愉快ヲ享ヘテ無事ニ過サレ度
ニ決^ステ事物ヲ悲觀ニ玉フナ

停車場^{ユチノ車}ノ上ニハ壽美子ニ留守中ノ心得方ナド細カク

話シ聞カセル東益雄春子カ手紙ヲ読ソタムトギハ在

前カケリ必ス書クフヲ云聞セ置キタ故ニ独リテ手紙ノ

書ケル迄デハ在^レ前カケテ是非共書カシメラセタシ壽美子

子ノ願ヲナゼタヌハキス(例ノ)シタキ心知致シ候

停車場^ノ送リノ盛ナリシハ手島ヨリ中聞取ラレタナラシ

明治 年 月 日

壽美子カ自カノ側ヲ取レス又漸々深庫ニ乘ルトキニ

晝子ト壽美子ノ手ヲ握リニ晝子ハ何事ナカリニ壽美

子リ目ハ涙グンテ自カノ手ヲ取サス何トナダメテモ取サ

ズ今カラ去ルヘテモ可憐ノモノハ候ハズヤ千萬人ノ見

送り人ハトモ一ツノ小女カ親ヲ思フ情ニ比スレハ萬分ノ

一モ是ヲサレテ感セシ候如斯事ヲ畫キテ御身ノ

思ヲ増サシムルモ面白カラサレトモ親子ノ情ハ如斯クモヘキ

モノナラン

見送人ハ殆ト東京ノ名士ヲ集ムルヲ名譽ト云フ可キ

フナラン乎横濱近ハ山下清周、大隈信常、加納友之介、

赤石定茂、小坂正一郎、其他銀山ノ土方、島、生田、津久井

明治 年 月 日

保井、奥、等ニシテ正金銀ヲシテ昼食ヲ喫シ二時前ニ際
 船モゴリヤ号ニ至ル前ニ外ノ見送人ハ横濱ヲ多ク
 百十人斗リトナリ別シテシヤパンヲ板キ申候見送人ハ三時
 ニ十分位後ニ陸ニ降りタリ船ハ三時半ニ錨ヲ板キタリ波
 止^{持極}抑ニ多人衆居リタリ以テ午島ホノ一行モモ居ルヤト
 ハニカチースヲ振リタリモ應セズシヤ否ヤ判断セサリシ
 錨後觀音崎近傍ニ来リ暮色蒼蒼然タリ先由
 前夜ノ暴風ノ後ニテ風ハ強リ波ハ高シ五時ニ茶ヲ
 喫シ疲勞ト衆分ノ慰救カラサル為メニ食室ニあつた
 茶室ニ室ニ帰り床ニ入りテ家郷ノ事ヲ追想シ
 シテ何時カ知ラス睡ニ就ケ

明治 年 月 日

第一信

葉船ノ夕刻ヨリ船ノ動揺ハ格別劇カラサリシモ船ニ慣
レサル為メカ觀音崎ノ未タ隠レサル頃ヨリ余ハ面白カラズ
夕食モ止メテ室ニ入りテ其ノ次ノ日モ終日室ニ引ツ籠リタリ
二十二日ヨリハ室ヲ出テシモ未タ手紙ヲ読ムルノ暇余ナリ時々
ムカムカトシテ又余ヲ催スルニ為メニ今二十四日迄テ字ヲ執
ラズ只今年後ニ至リテ葉船當日ヨリ五日間ノヲ思出シ
テ書綴ル可シ船中無量只サハ家ノヲ思ハルニ此ノ書
状カ御身ノ目ニ觸レ御身ヲ思シマシタルヲ云フレハ誠ニ愉
快ノ感ニモ致シ候

明治 年 月 日

一月二十一日

昨日始メテ草ヲ執ル氣分トナリテ
詔ソタルニ二十日分ヲ
終リタル頃ニ又氣分面白カラズ故ニ此ノ書状ハ二十日ノ
夕刻ニ詔ソワサルナリ今日モ又一日分丈ケテ書キ終ハ
幸ナリ

朝六時頃ニ目覚メタルニ船ノ動揺ハ格別劇シカラレ
モ頭ヲ上クルノ元氣ナリ一旦ハ床ヲ離レタルモ
レハ吐氣アリ遂ニ再ビ床ニ就キ十二時頃迄ハ床ニアリテ
御身ノ小供ノト出立間際ノト自分ノ紐着袴在中
ノト共何モ彼モ考ヘ盡シタリ何人ニ妨ケラレノトモナリ
思ヒ存分ニ恵縁ニ耽リ候モ一ノ大ナル樂ナリ斯ル時

明治 年 月 日

何人ニモ妨ケラレテナクハ却テ愉快ノ人ニ妨ケラレ
、云ハリ昨日ノ手紙ニ書落ニタルハ同行者ノナリ上等
船客ノ中ニ日本人ハ一人モナシ只亦歳位ノ少年カ宜
教師ニ連レラレテ米國ニ行キワルアル耳ナリ併ニ之ハ
決シテ寂シク感スルナリ却テ英法ヲタリ詠シ早リ
西洋風ニテ途ニシテ姑ヨリ希望ニタルヲナリ給仕モ船客
ニモ日本人ハ四人居リ
晝ニリ室ニ茶トパンヲ食シ夜ニ茶トパント少量ノ食
ヲ食シ再ヒ家郷ノ追想ニ耽リ夜十時頃睡リ
就ケリ

今日ガ之シテ茶ヲ抽キ夕食前ニ三十分
運動ヲナス可シニナユ日決リ

一月二十二日

昨日ハ終日床ニアリ今日ハ是非床ヲ愛シト勉メテ顔
ヲ洗ヒタルニ糸分ハ尚未全リ直敷カラム道ニ衣ヲ更フル
ノ勇ガ糸分ナリ室ニテ茶トパンヲ食シタルニ
衣ヲ更ヘテ甲板ニ出テ無茶若茶ニ歩キ廻ハレリ
昼ニハ始メテ人良並ニ出テタルニ君ハ今何事ヲ
リシヤトテ嘲笑セラレテ大笑ヲナシタリ午後モ
糸分ハ悪シク糸分ヲ催スヲ以テ只甲板ヲ歩キ廻ソテ
時間ヲ消セリ夕食モ食並ニテ取レリ夕食並ニテハ客
ノ多クあり燕尾服ヲ着テ中はニ行儀ヨシ自分モ不得
上ニ衣ヲケ黒ノモーニングニ着更ハタリ夜ハ九時半床ニ就テ

明治 年 月 日

一月二十三日

夜来降雨、風強リ波高シ船ノ動揺劇シキ為ソ今
朝ニ策々宜敷カラサル我慢ニ衣ヲ更ヘ無茶若茶ニ
甲板ヲ歩キ廻リ姫ノ食事ヲ取ル元氣モ出テタリ此ノ
日独逸ノ医者ニ曰奉ニ慢遊ニ来ソ人ト知リ合ニナリ
話ニ中々ニ面白ク少シモ無量ヲ感セシ

此頃ハ床ニ就クカ朝目覺シル家郷ノフツクニ為メニ
夜ト朝ハ厭ニナリ候家郷ニテハ景モ樂シカリ時カ却
厭ニナリ朝ハ稍早ツ目覺ケル極ニナリ明日ヨリハ可
多ク運動ニテ可成多ク熟睡スル振ニ勉メ可ト
夜ハ九時床ニ就キタリ

明治 年 月 日

一月二十四日

今朝ハ氣分宜敷ッ天氣又晴朗ナリ只朝カタ刻エテ
甲板ヲ歩キ廻リ昨日ヨリ左差ニテ買來メタル英語ノ
少説ヲ讀姪メタル佛蘭小説ノ英譯シタルモノミ田舎
者カ巴里ニ出テ道ニヌゴフキ懷中物ヲ取去ラルノ等ノ
奇談多リ中ハ面白リ讀ム候

白帋スレハ日本ヲ去タル傳ニ下シヤワモ下帶モ着居リ夜モ
シヤワヲ着タル傳ナリ此夜是北湯ニ入ラント欲ヘシモ
床ニ就リ頃ニ船ノ揺搖強シ今夜モ止メタリ笑ヒ玉フ
ナ左程氣分ノ悪シキヲモナシ只少シリ憂ムカエキ位ナ
リ
十叶次床ニ張リ

明治 年 月 日

一月二十五日

今日ハ出帆アリ已ニ六日目ニ候船ニモ可ナリ慣タル為ニ
横濱出帆後極リ海上ノ穏ナル日トテハナキモ格別氣分
ノ悪シキナク三度ノ食事モ稍美味ク感スルニ至リ候
此レ迄テノ手紙ノ中ニ全リ書リテ忘レタルハ風邪ノナリ
出立ノ日暖カナリト其ノ後船中ニテモ外套ヲ着ルナキ
位ノ暖氣ナル為ニ何時カ忘レタル如クニ全快致候間也
心アリタシ

本日ハ船中ニテ船員ノ火消シノ練習アリ中ルノ滑
靴者ニ有之候或者ハホードニ上リ或者ハホースヲ持テ
テ水ヲ注キ船中ハ上ヲ下ヘノ大混雜ニ有之候

明治 年 月 日

一月二十六日

昨夜ノ湯少シリ冷タカリシカ今朝ハ鼻カクスクス
ナリ終日ソシヤルホリルトテ船若殊々婦人ノ遊ヲ都
屋ニテ談書ニ耽ケリ候風邪ト云フ程ニアラス心配シ
五フナ西洋ノ書モ厭キ然レ故ニ日本書ヲ談クニ
力任地土佐ヨリ京ニ帰ルトキノ歌アリ

世の中に思ひあれどし子を恋ふるおもひに勝る思ひなき
事柄ユリ異ナシ時ヨリ隔ツル家郷ヲ思フ人ノ情ハ異ナ
ルヲナキカ如シ

二十九日ノ午後ヨリハワイニ到着ノ由ニ脱悔リ最早ヤ
厭ニナリ候

明治 年 月 日

本日無事ニテ神戶ノスローニ商会ノ社員トカミノ其人
ノ妹カ廣岡恵三君ノ愛ノ妹（一柳氏）ヲ克リ知人
ト紹々ニナリ種々廣岡君ノドモ話シ申候同氏ニ
御面會ノ節リ其ノヲ御傳付下ル

昨日ノ午紙ニ述ヘタル如ク今夕ハ六日目ニ湯ニ入りヤツ
其外ニ更ヘテ床ニ就キ翌睡改候

手紙ヲ書ク毎ニ御身ハヒニ大確ニ返答ニシタルニ
益雄モ梅子モ病氣同道ナラニ其子壽美子ハ
如何ニト考ヘ果ノ如ク甚痛ノ如ク一種異ハ
ノ感ニシテ致シ候

癸ノ二十六日迄

明治 年 月 日

一月二十六日

昨日モ二十六日今日モ又二十六日誠ニ奇ニ現象ニ候

本日 Antiklodes day アニクホーヅデーニ申候日ニ

有之候船ハ東ニ向ケル毎日 船改候事ニ日本

ノ時計トハ毎日一時間以上ノ差ヲ生シ今日ニ於テハ

已ニ七時間ノ差ニ有之候故ニ在ノ十二時ハ即ち日

七時ニシテ朝食ノ時ハ日本ニテハ前夜ノ睡キタニ頃

ナリ故ニ此ノ差ヲ正シテ遂ニ同一時トスルニ為リ一日ヲ

多クニサタルハ説明スルハ多少事理解有之候ナリ

存候

今日ハ好天象ナリ風強リ波高ニ早起ニテ食

明治 年 月 日

並ニ出ツ昨日来ノ風邪ハ別ニ惡シカラス或ハ風邪
ニテハアラサリニカト思ハレ候

今日ハ別ニ何等ヲ出来事モナシ食時モ進ミ運
動モ致候

船客ハ空教所多ク又ベリスホール船専門家一団十
ニ三人アリ此ノモノハ朝方曉ミテ歌ヲアルカ又ハ喫烟
室ニテトラムボヲ抱ビツアリ未ダ強ク敷ク有云
船モ厭ミテ候モ二十九日ハハワイニ行船一泊ノ由ナレバ
正金支度ノ時枚ハ友人ナレバ四五時間快談出来候
事ニ有候

二十七日正午吹浪

明治 年 月 日

一月二十七日

風ハ強ク波モ高カキモ正ニ舩ニ慣レテ少シモ感セズ
段々暖クナリ衣類ハ皆厚クワスグル極ニちぬッ
日本ノ六月ノ末カ七月始ノ時候ニ候ハテ後二十九日ハ
ハワイニ到着ノヲ一層暖カリ成可申候
合ノ服「着更へ可申候

面白キ失策アリ此度ニ二度目ニテ美事飲ミ込ミ
居ル、其果セハナク大失策アリ其上靴ヲ急付
カサリシヲ三テ解キ上靴ハ足モト何象ナシ成ヘタル、
舩ニ来リナシ支那人ノボイニ誘求スルナシト云フ
能ラリ汝おノ用フル靴アル可シ其レヲ買ハント云ヘバ

明治 年 月 日

Mr. Holbrook

日本銀行

其しモナシト云フ不得止夜ヤ朝ハ辱キ靴豆袋ノ
俵、便所ニ行キタルヲモアリタルニ泣ノ白リ逆ニ日本人ノポイ
ニ請求シタルニ彼一ヲ得タリ之レカ面白キモノニテ
アリ之ニ横濱ノ遊一廊ヨリ持帰タルモノ由何トナリ
汚キ糸モ股ノモ無キヨリ優勝ナリ、先取ノトキハ却テ
如斯失策ナカリシニ此先キトモ如斯失策ハ多ク々
アル可シ

昼ハ可成運動、夜ハヨリ睡ル標、勉メ居リ、
更ニヤシ、スローニ多量ノ社名ト云ハ在リホルブルーク
トヤ、人々有リ、今日モハモト一時名斗リ話シヤ、
持来リ、英訳ノ書知リ、己ニ漢文ニハハワイヲ買求メ

明治 年 月 日

ニナハリ新報云

一月二十八日

今朝ハ朝ミ風ハ直向フニ吹キツ、凡 為ソ、明二十九日ニハ
 ホール、ニ到着モ多少晩ル、フナ案出、ヒワアリニニ十九日ノ
 夕刻ニ口交、ニ到着ノ豫定ハ三十日(土曜日)ノ早朝ト
 云フフミナリタリ而シテ午後ニ、素港ニ向サテ出帆ス可ケレハ
 素港着ノ豫定ノ本月五日ハ異ハナラサル可シ
 今日ハ喫煙室(一室)ニ行クトモ煙草ヲ飲ムト速断
 ン玉ヲナ男ノ遊ヒ場所ニシテハ女ハ禁制ナリニテ西洋
 人ト彼方ノ話ヲナシチエスト云フ日本ノ将棋ト強ト
 口振ルニ遊戯ヲ習ヒタリ其ノ代リニ目併ベテ教ヘ
 申供困棋ヲ教ヘ、モ到底一朝一夕ニテハ彼等ハ

明治 年 月 日

理解不仕候

斯^クレ^テ此^レ後^ニモ毎日日記ヲ添^ソ送^ラテ^テ千^ノ許^ニ日記^ハ
留^カ置^カル^ニ故^ニ之^レヲ綴^リ置^キ保^存ナ^シ置^テ下^ノ千^ノ許^ニ朝
ノ上^ニ再^テ讀^ムル^ニモ一^ニ興^ハト^モ存^シ申^仕候

船中^ニ支^那ヨ^リ帰^ル因^ニシ^テ米^人ノ子^ニ益^雄位^ノ年
ノ子^{アリ}此^ノ頃^ニ友^達ト^ナリ^テ米^ヲ慰^メ居^リモ却^テ思
出^シノ種^トナ^ルヲ^{アリ}

出^ルノ時^ニ云^フ残^スヲ^忘レ^タル^事板^ハ千^島花^ノ
書^ハ状^ニ書^キ送^ハシ^テ古^覧ト^ナル^ヲ

二十九日

明治 年 月 日

一月二十九日

今日ハ午後ニハワイニ到着ノ筈ナリト後レテ明三十
 日ノ早朝ト成リヤ、ホノルリ（ハワイ島ノ首都）ニ
 到着、上ハ正金ノ支所ナリ枝ノ友人ナシ故、口人ト同
 道口交リ兄物作り最リ日本食ノ地也云々可成
 楽ニ居リ、今日ハ日本ノ七月ヨリ暑暖カテ合ヒ服ヲ
 モ少々暖カ過キル位ニ有之、
 横濱ニテ兄送リ呉レタル岩下以下ノ人ニ修端書ヲ出シ
 金ナ、新橋ニ土方ノ細君カ送リ送リ、来リテ
 五六月次ノ如天幕ノ常ニ被リ来リテ有リ、

二十九日 記

明治 年 月 日

一月三十日

日本銀行

今朝ハ朝五時頃、ハワイニ到着シテ六時頃、鐘ノ
音ヲ目ヲ覺サレ七時ニ食室ニテ検査友ノ検査ヲ
經タリ八時ニ迎ノ人々見ハルニ為ソ、船ヲ下リテ正金ニ
行リ夕本人ノ御者ナリ始メテ日本語ヲ談シタル心知シ
タリ正金ニ時枝文彦長ヲ訪ヒ共ニ領事館ニ至ル
領事ハ上野ヨリ一トテ嘗テ支那ニ行キタルトテ厦門
ニテ瓜分ニナリタル人ナリ共ニ旧ヲ談シテ昼食ヲ約シ
テ惣館ニ至リ次ニ海邊ノ日本料理店ニ月ト
云フニ至ル食室ニ上野領事モ来リ三人鼎坐
シテハワイノ状況ヲ聞キタリ切アリ海邊ノ公園内

明治 年 月 日

家ハ清楚々木造ノ田舎風ノ西洋建テ前ニハ
 遠海ノ海岸ヲ遊青草ノ内ニ各種ノ花ヲ以テ
 色取リタル変ハ誠々心知ヨリニ時間ヲ以テ消シテ馬車
 ニテ公園ヲ駈ケ水族館ニ至リタル規模ハ少サメ
 キモ集メタル集ノ色ノ綺麗麗ナル目ヲ驚カス斗リ
 ナリ又海岸ノ公園ヲ駈ケ廻リテ船ニ帰リタルハ
 四時ナリ五時出帆シテ友人ニ別レ豫定ノ如ク船中
 ラ始メタリ
 ハワイハ先年通過シタルトキヨリモ米國ノ手ニ帰シテヨリ
 ハ非常ニ改良セラレワーアリ米國風ノ建築ハ各處ニ
 見ソワーアリテ

明治 年 月 日

茲、余、衆、モ、感、シ、タル、ハ、田舎、風、ノ、少、サ、キ、西、洋、ホ、カ、地、
道、ノ、樹、木、ノ、鬱、々、然、タル、交、右、種、ノ、花、カ、四、時、其、ノ、美、
ヲ、競、ヒ、ワ、リ、モ、交、ハ、凡、ス、ル、ヲ、シ、テ、此、ノ、通、リ、ノ、ホ、ヲ、大、碑、迄、
立、テ、タ、ラ、ハ、叱、リ、心、知、ヨ、リ、任、ハ、ル、ナ、ラ、セ、ト、思、出、シ、リ、帰、朝、ノ、
常、ハ、是、州、共、之、ノ、ホ、ノ、種、ヲ、取、リ、テ、作、リ、試、シ、ト、有、シ、
可、ナ、リ、大、丸、モ、シ、テ、二、千、弗、即、四、千、圓、ニ、テ、出、来、ノ、概、
ナ、リ、

ハ、ワ、イ、ノ、状、況、ハ、小、供、與、給、葉、ニ、テ、送、リ、ヤ、
本、日、当、地、着、ノ、リ、正、金、ヲ、步、電、信、ノ、向、櫻、田、君、
ヲ、知、ラ、セ、タ、リ、事、ニ、存、ヤ、

三十日夕刻 認

明治 年 月 日

一月三十一日

本日ハ朝来元氣ヨロシカラ、何故ナリ知ラサルモ
己ノ軀体ニ厭キ果テ、家郷ノ一耳鬼出ニ多クハ
部屋ニ横臥シテ讀書ニ耽リ候
ハワイハ白ノフラスネルノ服ニ尚汗ニ出ツル程ナリシヲ今
朝ヨリハ冷シクサリ冬服ニ着更ヘ申候
大礫ニ趣キノフト有シヤ、三月ノ中旬ユテハ是れ共ニ
帝在セシ度ニ此ノ冬ト車ル冬トハ別當ニ由利心
持チぬ前事放棄ニテ由保養ヲ祈、人間ニ健康
ナカラサレハ決シテ充分ノ幸福ヲ享ケルヲ能ハサル義ニ
存候
一月三十一日ノ夜記

明治 年 月 日

此ノ後ニ於テハ
此ノ後ニ於テハ

二月一日

今日ハ早ヤ二月ト成リ候此ノ終ハモ五晝夜ニテ
米國ニ到着ノト存候、到着ノ上ハ二三日間滞在
ノ上紐育ニ向ケ去ル可仕候

昨夜ハお眠政ノ為メ、今日ハ元氣米田友リ候お心
ト云々

ハワイヨリハ旅客我常ニ多クお成リ、婦人小供等多
ク船中ハ賑ハシク、小供ノ洋服ノ中々、与海一きセノ
有リ、紐育ヲ買求リ、送リ可ヤ、

包子殿ノ婚姻ハ如何、お成リ、其詳細其ノ模様
等内知ラセテ云々

明治 年 月 日

本日、朝十時、喫烟室にて Calcutta Pool 十ヤードノ
 有之、此登る今日ノ畫ニテ、船ノ去ル距離ヲ計テ
 コヲスルヲ、夜令ハ自カカ、300 mile
 ヲ五弗ヲ買ハント、他ノ人カ五弗ヲ十ギト云ヒ又云
 買上ケテ六弗ニテ買フナリ而レテ 301 302 303 mile 行キ
 斯リニテ、何百弗ト集ムリタル金ハ其ノ日ノ去リタル
 際ノ距離ハ十三時、船長ヲ被差アリ云レ、此所ニ近
 キ人カ全部ヲ取ルナリ、婦人モ小供皆集ムリテ
 常ニ賑ハヒ申候
 手紙ハ毎夕書キテ土曜日ニ必ス送ル有之、銀
 ノ收銀ハ重キ故郵税ニ注意有之

明治 年 月 日

以下、

1月は、2月の誤り

(論叢カ四卷による)

二日

日本銀行

眠仕り候船ハ東洋ニ向テ航海改
今日ハ朝ヨリ外套ヲ着申候ハ
ヤテ余リ面白カラサリニ日本ノ四月次

斗ッ共同ニテ遊戯ヲナホリ種々

運動会ニ有之リ自分モ一弗寄附

改メ西洋人ノ朝ヨリ夕コテ嬉々トシテ樂ミワアルニ威

心、外々之ヲ從テ皆壯健ノ歎ヲ致シ其ノ市互ニ

健、亦ミアラサレハ到着充分ノ幸福ヲ享ルルヲ能ハサ

ル可ニ此改メ洋ウニ此ノ点ニ付テハ大ニ知リ可ク

明治 年 月 日

情候

一月二日

昨夜、誠ニヨリ安眠仕リ候船、東洋ニ向テ航海改
コ、間毎日ニミクナリ今日、朝ヨリ外套ヲ着申候ハ
イ近所ハ暖カ過ギテ余リ面白カラサリニ日本ノ四月頃
ノ時候ト成リヤ、

今日、船客百人斗リ共同ニテ遊戯ヲナスモ種々
ノ戯モリ日本ノ運動會ニ有之、自今モ一弗寄附
改、西洋人ノ朝多クテ嬉々トシテ樂ミワアルニ威
心、外々々々、從テ皆壯健ノ歎ヲ致シ、其ノ中互ニ、
津、原、ミヤサレハ到着迄、幸福ヲ享クル能ハサ
ル可シ此後、洋ウ、此、点、付テ、大、知リ可ク

明治 年 月 日

惜候

御身モ大ニ勉メラレ度ク候大確ニ行キハ勿論東
 京ニアリテモ時候ノヨキ等ハ勉メテ運動ヲナサレ候
 ハワイヨリ棄リタル船中ハ新開地ニ往復スル人耳ニ
 品性ノ果キ人物耳ニテ朝ヨリ夕ノデ増賻斗リニ耽
 ケリ居リ、西洋ノ婦人カ生意氣ノ風ヲナシテ甲板ヲ歩
 キワ、アルカ見ルトキハ日本婦人ノ謙讓ノ美徳ハ急ニ
 一倍程有チ成リ、日本男子ハ中ニ婦人(日本)ヲ一層
 尊敬セサル所ナラトノ觀念ヲ起シ申候(云ノ)ハ帰朝
 ノ節迄決シテ忘レサル可ク候

一月三日 乾 滯

寝衣ハ能常ニ与海ノ風ニ対シテ候

明治 年 月 日

一月三日

天多来ハ清朗ナリ風ハ強カラズ船ハ慣レタル為ソ、
舳ナリトテ別ニ変リタル心知モ致サス候係ニ何故カ朝ハ
常ニ頭重シ候此ハ舳ヲ常ニ動揺スルニ頭ヲ枕ニ就
ケ居ル為メ頭ヲ震動スルニ為メナリト膝モ疲スル動盪
モナリ明後六日(土曜日)ノ午前ニ柔港ニ到着ノ旨、
柔港ニ三日間位滞在セテ十日目前ニ紐育ニ到着
ノ積リニ御坐候

昨日ハ海堂千亥夫人、石森狀ヲ認シハワイニ保養ノ
為メ来スル概ニ勅シ置キ、輕快ニお成スル大確、
多ク、お傳申付テ都念ノ事也、余亦亦々

明治 年 月 日

今夜ハ夕食後ニ甲板ニ舞蹈見^ル中ニ騷
 々敷、突、小雨アリテ甲板濡レ、為^シニ集會室ニテ
 音楽會ハ代リ西洋婦人ノ誰彼ト皆集エテ歌ヒ
 ヒヤノヲ聴ク多ク、船中ニ一人トテ満足ニ
 歌フニモ弾ズルノ者未^レ人モ有^ル、自^ラモ輕^ク時
 聴キ、以^テ余^ノ下手サニ思^フキヤ、
 自^ラモ米國序在中何カ一藝習ヒ可^ク乎西洋ノ歌ハ
 果^{シテ}外^ニ舞^ハル^ルハ有^ル乎、御身何カ是^レ一ノ樂ミヲ
 此^レニ有^ル乎、

一月四日新港

明治 年 月 日

一月四日

日本銀行

米國ノ税関ハ中々、煩サキ事ニ候持卷ニモ何モ
蛟^{カモ}表ニ造リ候事百五十圓以上ノ税金ヲ支拂フト
可^レ取^レ之^レ濟^メハ項上ト有申候 船ノ下ノ倉ノ中
入^リテ一时尚余モ費^シノ為^メ疲^レ申候

今日ハ支那ノ下等者ヲ集^メテ軍勅令ヲ改サセ候
西洋人カ支那人ヲ金^リ人間トシテ取扱ハズ犬猫ノ如ク
虐待ス^ルヲ嫌^ハズ^ル至^リ、例^ヘハ軍勅令ニテモ 柿檣
ヲ十斗^リ系^ミテツル^シ墨キ手ヲ用ヒス^テ之^レヲ人食^ハシ
ソ早^リ喰^フツタ^ニモ^ハ一^ハホ賞^サリ柿檣^ハ口^ヲ大^ニモ
手^ヲ十^ニ之^レヲ喰^フハ^ニ國難^{ナリ}其^ノ有^ル様^ハ

明治 年 月 日

金ヲ大回極ナリ而シテ當分トモ皆三十ナリナ位ノ
現金ヲ傭スナリ日本人ノ勞働者ハ恥悔ニ居ラサルハ
非常ノ仕合、有ク

英法ノ畫物モ讀ミ厭キテ山陽ノ吉野山ノ紀伊ヲ
讀ミ果シテ吉野山ハ皆遊ノ家ヲ桜花ノ瀟灑な
雲山中ノ切所ノ清淨な色切リニ懷出サレ候

日本ハ二月後ニハ桜花ノ好計ナリトモ可キ米國ニテハ
如何ニ花ヲ凡ル可キ乎恐ラリニ細育ニ花ヲ凡ル程
ノ野ニ集ノ切所アリアラサル可シ

三月五日

明治 年 月 日

二月五日

日本銀行

亭曰ハ中々ニ云ク候
 朝ヨリ外臺ヲ着シテ
 候
 何カハ供養ニ自分ノ業
 シモゴリヤト申候所
 在リ此終改サセント
 考ヘ幅子ノリボシ
 四ツ買求メ
 送リ可成モ付ケテ
 市用ニ事ナリ

二月六日

此ノ事ハ豫定ノ通りニ索償ニ六日午後ニ到着改シハ安
 一ノフエヤモメントリヤ、ホテルノ三階ノ減々美而ル
 部屋ニテ恐ッ居リヤ、

二月八日

六日ノ朝ノ六時頃、鐘ノ聲ヲ目ヲ覚サレ勿皇起キ出テ、
 換衣及ノ検査アリ暫リスレハ移氏及吏来リテ旅行券
 及兄職業ホリ向正シヤ符美似ノモノヲ呉レ候其レリ
 船ハ船渠ニ入ルヲニ時^間モ樹トト有テ、忽風波強
 リ波高ノ故障ノ為メニドフリニ至リタニハ午後四時十
 リシ其レリ、税関ノ調ヲ絹美ヲ骨出シタニ、総價
 梅ヲ二万二千圓トシタニ、又、百二千圓ノ税金ヲ取リシ

明治 年 月 日

中、百二十圓ノ税金ハ何デモナキモ
 解キテ自カラ世活ルヲ其ノ煩雜言流_ヤ絶ヘタリ
 迎ノ人ハ正金支店長及佐野モ来リテ我金ノ
 入ルヲ許サレズ角、其ノ古偏ニ馬車ヲ山ノ上
 ニアルフエヤモントリヤ、ホテハニ至リ、夕刻ハ正金支店
 長穂積モ一モ、招カレテマヤノ小サナ綺麗大
 西洋造リヲ如斯取ナリ御身カ来リテモ衆_{ニシ}任ニ
 得ハナシト云出シヤ、紐育ニ如斯少サナ三階位ノ
 家ヲ一軒借りハル、如キ家ナリ大勢ナ階位ノ家ニ
 其ノ中ノ一階ヲ一部ヲ借りテ困難ナ可シ
 久ニ振リて日本食ヲ喰ヒシモ余ヲ甘カクム寧_ニ西

明治 年 月 日

洋食ヲ勤怠行

白石元治ノモ夫婦ハ素夜在勤ニ行ハテルニアリ

夕刻ニ訪向ウ愛ケル夫人ハ海野モ全嬢ニ知リ

合ノ由申身ニ伴ナリシナラトモヘキトPモ依

夫人ハ英王ニハ海野モ夫婦ト行由キ英王モ帰余

其ノ後ノ情在テ二ノ目ノ由来月位ハ帰ル由モ知リ

其冊ニフエヤモントオテルノ注細ニ有テ自分ノ借クタニ

部ハ座接ノ向ト寢室ニテ風取却モリ完美ノモノヲ

多分部屋代カケテ一日ニ二十弗以上(四十圓)ナリ

綺麗ナシトモ言カキモ知リナリオテルノ建築費ハ

六百圓以上ノ由ナリ

明治 年 月 日

二月七日

日曜日子正金支取ト素茂見知ノ約アリ然レ降
雨ナリ素茂ハ一月ヲ降雨續キノ由ヲ未タ一皮モ曉
テハナチ由ナリ門着ノ日ハ非常ニ六ツリテ風邪ノ症リタ
ルカト心配シタルニあぬ風モ引カズ佐金ニ朝佐野
来リ失張以成ニ佐野太モ或人ノ京ノ朝候ニ
掃除ヲナシ登リ小倉城ニ行キテ今ハ古ホ小倉城ノ
最上ノ段ニ由衣美ナトモ倚所ニ改シテ満屋改
シ、小倉城ヲ卒業ノ上ハ古也兼座城ニ入リテラニヤナ
日本ニアリタル由、自分ノ申聞カセタルノ今ニ至リテ
明リタル由ヲ素茂ニ来ニ何ノ得ニ更ニナリ只ハ

明治 年 月 日

治ラ少シ竟ニ位ヲ將來ノ目的ハ立タズト大ニ恨リ
 然レ由テ自カモ其後悔アリ由ニトテ本人ノ恥ニテ
 此レ近テノ不都合ハ責メサルトセリ尚テ其業ヲ裁
 卒業ノ上リ韋狀ヲ出ス所シ將來ノ引致ケテ世訴ス
 可シト尸墨キ、人ニ遇ヒタトキハ減ニ諸君ニキ心知改シ
 申候

本人ノ帰リタル後ニ正金支所長ト白石氏ヲ訪ヒ種々
 米田ノフヲ四ノ減、利益傳ノ書面食、白石氏ニ御
 馳書ニナリヤ、食ヲテモ中々富リ一才人ニテ登食
 ヲ食シテモナキ弗ヲ要シ、朝食、何時ニ一弗位
 ニ有テ、知價ノ高カキニ對シキ入リヤ、

明治 年 月 日

午後、馬車ヲ公園ヲ廻ケ廻リ夕刻ハ再ヒ穂積
 氏ノ市地賣ヲ小川亭トヤノ日本ノ料理屋ニテ矢張
 日本食リ、柏お甘キト云フ所、西洋食ノ方違カ、勝
 シナリ、白石夫婦モ一結ル、

十時頃、ユラミシテ帰り、明後日早朝ハ紐育ニ伺ケテ
 歩道ノノ故前造ヲ改シ、御身ノ云々、
 キツス改シ小供ノ云々ト共ニニナキ斗リ眠リヤ、
 糸巾ノ如リ結ル、ミラム、從テ稍お仰ノフモ云フ、
 少ナクナリヤ、

御身モ時候々、海ノ云々ナリ、東京ニ帰リテ忙シク、
 事ヲ勤ナサレ、事ノ一ノ業ト云フ、

明治 年 月 日

二月八日

昨夜荷知^ニ曉^リキ^ニ為^シ、今^レ乾^ハ時^ニ起^キヤ^リ、
朝食^後ハ其^レ書^状ヲ読^ソワ^リ、誰^レ人^ノ来^ルモ^テ、
徳^所所^ナニ部^屋ニ^テ只^一人^ニ此^レ書^状ヲ読^ソワ^リ、其^レ郷^ノ
ヲ^ヲ思^出シ^ワ、果^シテ有^ク、今日^ハ此^レ書^状後^ニ
正^金銀^ヲ行^キ金^ヲ読^取リ[、]其^レ少^シ散^歩、
シ^テ夕^刻ニ穂^積夫^婦白^石夫^婦ヲ招^待シ^テ夕^食
食^ヲ上^候終^束、有^ク

今^夜裡^ニ曉^キ、乾^ハ早^ク、京^東院^ニ此^レ
大^キニ^テ摘^取、然^ル、今^レ日^ハ小^供、^ハ得^業事^ヲ
送^リ可^ク

明治 年 月 日

二月九日

二月八日、白石元治郎君夫婦ト正室、穂積君次郎、
 為平君ヲ招ケリ、小川亭トテ日本料理店、有リ
 今夜ノ日本料理、可ナリ、甘カシ、九日ノ早朝穂積
 白石君、足送リ、後ケテ、乗リ、紐着、点ノ、
 車賃、百五十圓、斗リ、寢、其、金、ハ、二十八圓、金、中、
 千カゴ、迄、得、共、多人、あ、一、車、ニ、乗、合、テ、ハ、得、共、
 二、厭、ハ、為、特、別、室、ヲ、買、ヒ、ヤ、リ、之、リ、千カゴ、迄、ハ、十、四、
 有、之、云、ノ、室、ハ、減、ニ、修、修、シ、寢、其、金、モ、二、ワ、有、リ、豊、之、四、
 牧、敷、位、ニ、シ、寢、意、ノ、外、ハ、剃、洗、場、リ、便、所、新、他、人、ハ、
 少、シ、モ、接、ス、ル、ナ、リ、テ、後、リ、カ、出、来、リ、ナ、リ、故、ハ、夫、婦、モ、ノ、

明治 年 月 日

旅ニシテ多ク之レヲ用ヒ、由ニテ、
 面白ク可笑シク感ニタレ
 ハ、~~余程面白ク~~、便所^{有テ}、~~其ノ事~~、
 終共、~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、
 便所^{有テ}、~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、
 連シトス、~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、
 余程ノ奇觀ト^{有テ}、~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、
 此ノ邊、~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、
 車カ水ノ中ニ~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、
 三十分^{有テ}、~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、
 切所^{有テ}、~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、
 米田ノ~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、~~其ノ事~~、

明治 年 月 日

二月十日

昨日「金」大洪水ノ中ヲ走リタルニ今朝「米」因有
 在ノ口ツキ山ノ山中ニテ雪ノ積リモルヲ幾尺ニテ知ラ
 ス例ノ業海ト云フ人ノ畫キタル画ヲ思出シ中其今日ハ
 雪ノ中耳ニテ何一ツ凡ルニテハナリハ業院ニテ買求ソ
 タル畫物ヲ効隆院ノ琵琶湖ノ何十倍トモ云フ可キ
 ソルト、レキトカー湖ヲ過キ、常ニ奇觀ニ其地
 冬ノ景色ニテ何一ツ凡ルニテモナリ只一室ニハ此ソテ
 讀書ニ耽リヤ其書室付ノホーイカ線常ニ心切メ
 ニテ稍豫情ヲ慰メヤ其ホーイトテ米因ノ印人
 ニテ里中人ナリ

明治 年 月 日

二月十一日

米國ノ北部ハ原野耳ニ一畧千里ノ平原ヲ濠
車ヲカキル有様ハ誠ニ其趣味ノモノニ有テ一殊ニ雪
耳ニテ半日位ハ金リ地ヲ見サハテ耕地トテハ金リナリ
只ハ牛馬ヲ飼養スル耳ニ有テ十二年間ニモ其ノ趣
ハ常ニ其趣味ヲ感シタルニ只一人ノ旅リニ殊更
ニ感シカハ如斯キ都府ニテ其ニタラハ如何ニトテ
思出し果テハ富郷ノ小供ノヲバ其出シ大ニ其量ヲ
感シテ其
濠車ハ濠船ト云テ其ノ運動モ其来不又革然ルヲモ自
由ナラバ一層其郷ノヲモ思出シテ

明治 年 月 日

二月十二日

朝九時ヨリ寢室ニテ食事後荷物ヲ片付ケテ十時
三十分ニ至リテ一分間モ後シテ此カゴトヤリ米玉売却
ノ大都會ニ到留候ヘテ、馬車ニ乗リテ他ノ僱ノ車
切取ニ至リ *Alston van Buren & Co Sale*ニ参リテ
荷物ヲ一時預ケ候ヘテ、食室ニテ食事ヲナシ候
米玉ニ来リ始メテ廿分食事ヲナシタル心志、改メ二時
半ヨリ米田方一ノ速カノ馬車ニ乗リテカゴヲ出散
改シ一時間平坊六十哩余ヲ走リテ終着ニ至リ、
急山券ノ馬車僱ノ外ニ二十圓寢室券十圓ニ
附シ高キ馬車ニ有テ、千カゴニ面白ク雜談ヲ

明治 年 月 日

買取リ 漢之、食事ハ後車下甘カリシ為ソ、喰過キ
運動モセス 漢書ヲナシ 九什頃ニ 寝甚ニ入リ 夢ハ
腹痛モナリ下痢モナキモ 夜ニ夜便通ヲ催シ 便愛
ム事ハ、ニリ 閉口作ル 新中車中 運動 不足ノ為ソ
胃ノ不消化ト存候

明治 年 月 日
如何ガ事ニ 可キ事 可成面ニル 若シテ 病多キヲナサレ
ル 按ニ 効メザレ 可カラズ 中ニ 艱難ノヲナリ

二月十三日

朝九時半ニユヨリニ到着候一昨十二日ハ米國ノ
 南米戦争ノトキ大高傑リンエルンノ百餘年祭ニ千
 カコ、ニユヨリ共ニ休日ニ電信モ休ニシ為メ總督
 ニ千カゴヲ考メシモ電信ハ局ヒストテ日本領内欠
 出一人急ノ為メニトテ来リテ千カゴ減シ、休合セテ本
 人トヨリニテ小野君ノ出宿降テ、ホテニ、エルセスト
 カ、変ニ入リヤ、

一月二十日、日本ヲ考メテ、海ヲ走ルヲ四千八百里余像
 車ヲ走ルヲ素速ニ千カゴ追リ二千七百里千カゴヲ
 紐育ニテバ千里余合計八千二百里余ヲ二十日間に

明治 年 月 日

去リテ目的の地ニ紐育ニ入リテ金下別ニ病氣モナク
至極此事ナリシリ而モ大其ノ功ニ供

到着直ニハホキ々解リノ時モナク燕尾屋様ヲ

注文ノ為ニ行キタリ燕尾屋様一ツ九十八弗日本ノ

金ニ百六十圓背廣一ツ百六圓何ハ高キモノニ

供ハスヤ

今夜ハ小野君ノ催ニテ日本俱樂部部ニテ日本銀行

員耳ト晩餐ヲ喫シヤ日本食リお甘カラムハ

下街ハ止スリモ腹全快ト云フ際ニアラム早ク帰リテ

腹堂ニ入リテ

明治 年 月 日

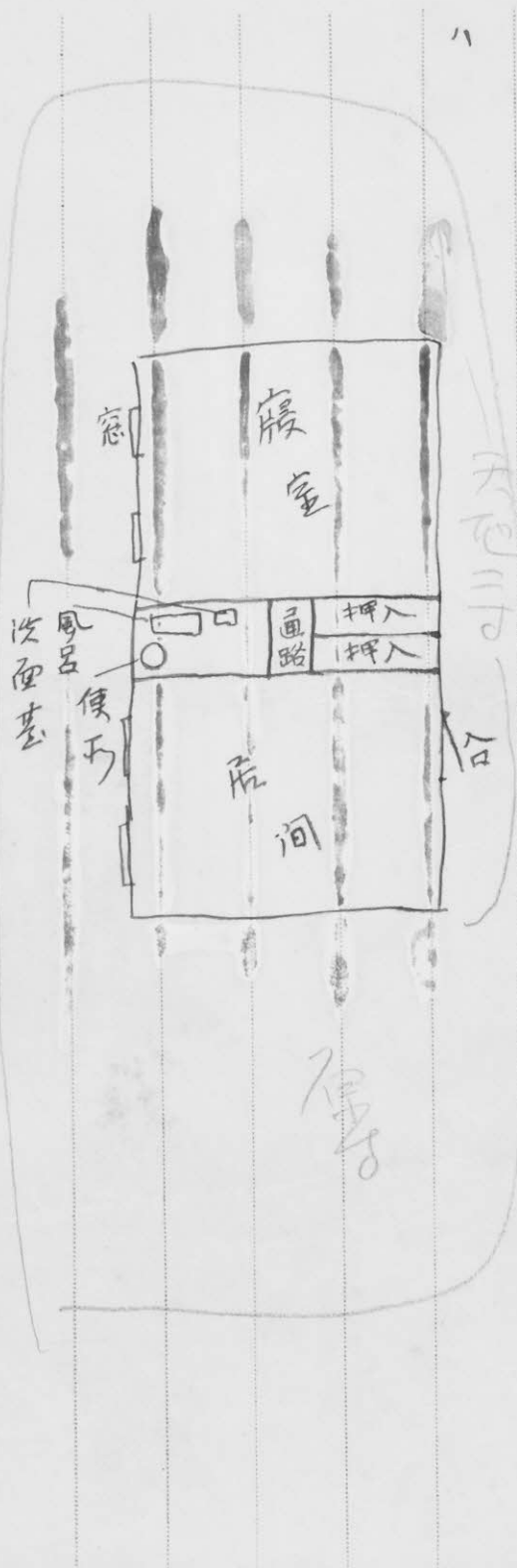
二月十四日

日曜日ナリ朝九時頃ニ起キタルニ荷物ハ停車場ヨリ来リ
候為ソ午後ハ小野君ト共ニシイフモリ傍向改修
シイフ氏ハ曰ク「来リテ當ニ大改修ニ登壇スル供ト
合ナリ紐育ニ此人ハ萬事ヲ依頼スル者ナリお悪
ク不在ナリ其レヨリ小野君ヲ福井氏ヲ傍向修
夕刻ハ早リ床ニ就キテナリシニ日本人多クハ新橋
来リテ遂ニ夜晩クナリ」

自分ノ止宿所ハホテルハホテル、スルセエトヤノモリニ
高キ変ナリ余リ遙ニ地ニモヤラス地下鉄道ハ便利
ニ有テ十階位ノ中ニ、綺麗ノホテルニシテ通り一途ノ

明治 年 月 日

旅費、殆ど一年トカ二年トカ住ヒ所ノ人耳ニ有ク
 静カ、安ク、小野君リ己ニ二年余住ヒタル由テ、
 ハハ階、自カハ七階ノ東向キノ部屋ニ有ク、
 部屋ノ形



部屋ノ廣サハ大段ノ西洋間ニ少シク廣キ住ニテ居間
 寢室共ニ口枡ノモノナリ、東向キ等モ可ナリニ、
 備

明治 年 月 日

日本銀行

常々紐育に慣れし故に任事あり

食堂に三ツキリアリ可なり多量の人を任じたり

日本より出たり已に其二十七日に去り未タ一度モ御身ノ

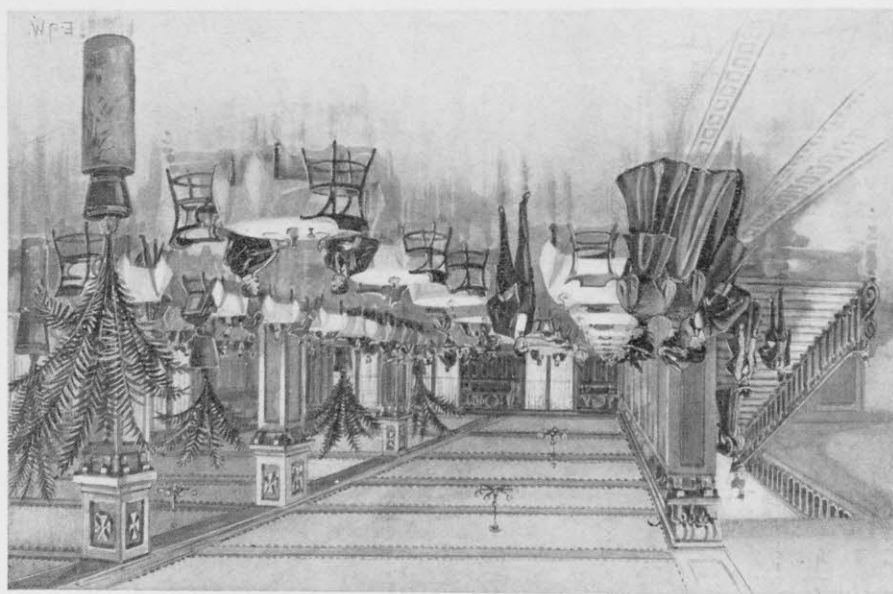
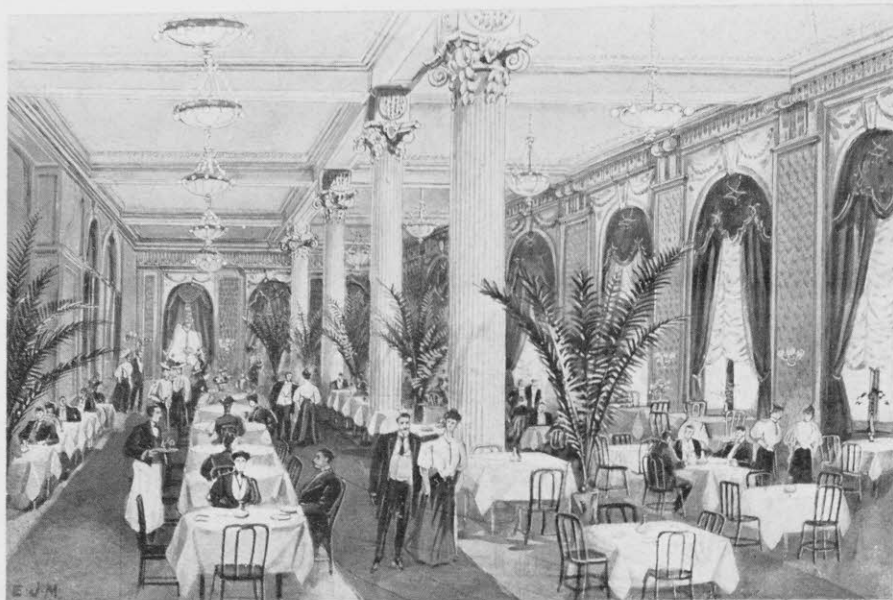
書翰向に接せられ旅中ニハ書翰ノ待たれりモノ有る

待たれり来に當りナリ一月ノ二十日以後に未タ解り

之候モノヲ御身ノ書翰ノ来ノモノハ御りたり常々

又來信に來りたりト云ふ

明治 年 月 日





The World's Greatest Druggists.

Just think of one Company owning and operating the Eleven largest drug stores in New York. Just think of one retail drug company employing a thousand people and selling many thousands of dollars' worth of goods daily. That is what Hegeman & Company is now doing. Every one of their eleven stores is conducted with a care and vigilance unknown in other drug shops. Hegeman & Company sell only reliable goods and charge only a modest profit. They are known throughout the world for reliability and accuracy in compounding prescriptions. Their nearest store to the Hotel Marsaille is at 101st Street and Broadway and is renowned throughout the upper west side for its promptness and general efficiency. When in a hurry for drugs or medicines call 3456 Riverside. You will get the goods in a surprisingly short time.

Lord & Taylor

VISITORS to New York should avail themselves of the superior facilities of this high class shop, which afford unusual opportunities for the selection of fashionable wearing apparel, and artistic furnishings for the home.

The central location of the store makes it a convenient shopping center from any of the leading hotels.

Prompt city delivery by uniformed messengers and wagon service.

Goods carefully packed for shipment to distant points. Always specially attractive offerings in the following:

SILKS AND DRESS FABRICS

WOMEN'S SUITS AND DRESSES

MILLINERY, FOOTWEAR, GLOVES

HOSIERY AND UNDERWEAR

TOILET ARTICLES, STATIONERY

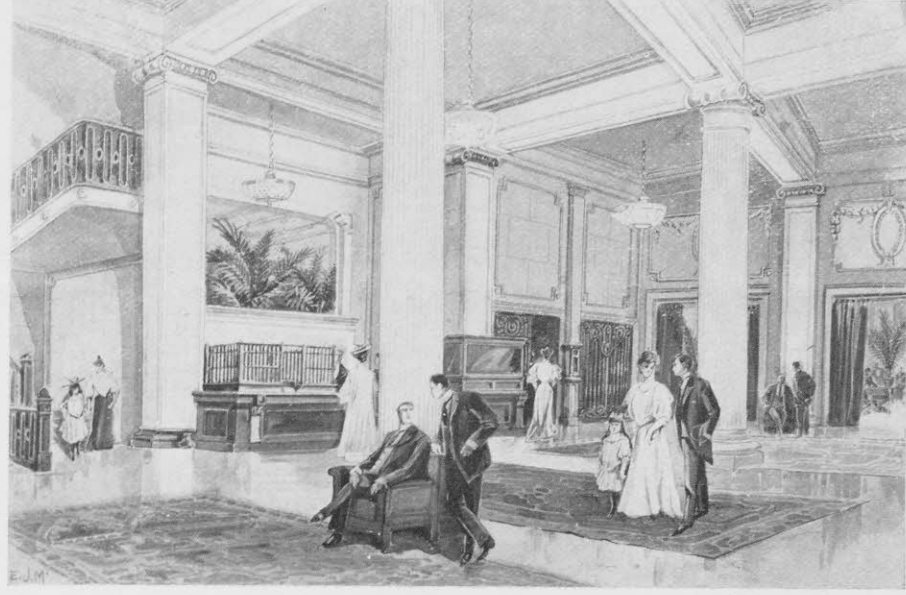
MEN'S FURNISHINGS

FURNITURE AND UPHOLSTERY

CARPETS AND RUGS

HOUSEHOLD LINENS

Broadway and 20th St.; 5th Ave.; 19th St.
NEW YORK CITY



Telephone Connection

B. ZIPSER
LADIES' TAILOR AND FURRIER
2647 BROADWAY
NEW YORK

Telephone 592 and 3510 Franklin

Mahr's Hotel Supply House
"The House of Quality"
8 Harrison Street, New York
Absolutely Reliable
Butter and Eggs at Lowest Market Prices
Julius D. Mahr, President

OLD CLIFF WHISKEY is the purest of all,
Learn to drink it and for "OLD CLIFF" call
Don't you forget it cannot be beat,
Candidly speaking you should it greet;
Let all your friends know it is the best,
Insuring satisfaction, it can beat the rest;
For an excellent stimulant "OLD CLIFF" for all,
For the father and son and the father-in-law to call.
(ON SALE HERE)

PROPRIETORS OF **Old Cliff Whiskey**

J. & J. EAGER CO.

Established 1865

Telephone Connection

JOHN T. STANLEY

Manufacturer

FINE TOILET, LAUNDRY AND
TEXTILE SOAPS

642-652 WEST 30th ST. NEW YORK

Graduates of the American School

THEO. P. BERGER, D.O.

GRACE C. BERGER, D.O.

OSTEOPATHS

2686 Broadway New York City

Telephone Riverside 1662

Telephone 3954 Bryant

The Bloch Manufacturing Co.

Office and Factory:

537-539-541 West 43rd Street

Makers of All Kinds of Soaps

Grease collected from hotels and restaurants



地下鉄、停車場

Golda
Exclusive Millinery
 2752 Broadway, New York
Facial Massage and Chiropody

H. M. O'HEEN
 HAIR EMPORIUM
 Fine Hair Goods, Shell Goods and Toilet Articles
 105 W. 103rd STREET
 Telephone 8732 Riverside
Resident Calls Promptly Attended To

Original Columbus Market
 M. BUCHSBAUM & SONS
 Wholesale and Retail Butchers and Poulterers
 792 Columbus Ave. Near 99th St. New York
*Hotels and Restaurants Supplied at Reduced Prices
 City Dressed Beef, Veal, Mutton and Lamb
 Poultry, Game, Fish, Oysters and Clams*

WALTER E. HODGSON
 Men's Shop
 Broadway and 101st Street, New York
 140 Flatbush Avenue, Brooklyn
 Shirts To Order Shirts Ready Made

FRANK M. RANDALL

Wholesale Furniture, Brass and Iron Bedsteads
 125 EAST 42nd STREET
 Representing Standard Lines from Factory Direct

Telephone 573 Beckman
J. L. QUIMBY & CO.
 Manufacturers of

LUBRICATING OIL

Office: 278 WATER STREET, NEW YORK

POPEK & FABBRINI

Washington Market Co.
 FRUIT AND VEGETABLES
 884-886 COLUMBUS AVE.
 Telephone 6106 Riverside
 Bet. 103rd and 104th St.

PHEPAY

Expert Watch and Clock Maker
 868 Amsterdam Avenue
 Bet. 102nd and 103rd St. New York
 ALL KINDS OF OPTICAL WORK



which there are none better in the world. Only the best foodstuffs are received in the Marseille's kitchen and only the best cooks are employed to cook them. At the Marseille the serving men know how to serve and the cooking is both a science and an art. The Marseille's cellars are filled with wines of the choicest vintage. So it happens that good cooking waits on good digestion and rare wine cheers the soul.

And then there is the music of the Leipzig players, whose melodies at the dinner hour speed away the day's cares to the garden of oblivion and make every diner feel that life is worth the living.

The Marseille is under the management of Henry S. Clemens, whose summer hotel is the famous Congress Hall at Saratoga. The Marseille prices are such as need keep no reasonable person away. They are as moderate as comport with perfect hotel keeping.

The hotel is on the line of the subway, an express station of which is on the hotel corner. The Broadway surface cars pass the door, the Sixth Avenue surface cars are but one block away, and the Sixth Avenue elevated is but two blocks away. Thus the Marseille is within ten minutes of Grand Central Station, all the best shops and theatres, and within twenty minutes of Wall Street and all the financial district, as well as all the ferries connecting with ten railroads running out of Jersey City.

PACKINGS FOR STEAM, WATER AND AMMONIA.
HYDRAULIC LEATHER PACKINGS,
PUMP VALVES, HOSE AND STEAM TRAPS

AUSTIN PACKING & SUPPLY CO.

Manufacturers of

109 LIBERTY ST., NEW YORK CITY

511 W. 20th STREET NEW YORK

Sole Agents for the J. & J. Flour

FLOUR FOR HOTELS A SPECIALTY

JOHNSON & JARVIS

RUSSELL C. JOHNSON

JOHN A. JARVIS

106, 108 and 110 West 99th Street New York

Telephone 7692 and 7693 Riverside

Supplies for Plumbers, Steamfitters, Tinsmiths, Engineers and Apartment Houses
Dealers in Iron Pipe, Valves, Fittings and General Supplies

Hot Water Service for Apartment Houses
Steam and Hot Water Heating and Ventilating Work

Contractors for

GREASON MANUFACTURING CO.

Office and Salesteam : 860 BROADWAY, NEW YORK

Cor. 17th Street

BENTWOOD FURNITURE

Inventors, Manufacturers and Importers of

THONET BROTHERS

Established 1853

The bentwood furniture furnished by

WALLER & WALLER

2816 BROADWAY

Cleaners and Dyers to the Fastidious

1930 LEXINGTON AVE.
Near 119th St.

Main Office
1390 LEXINGTON AVE.
Near 92nd St.

SADIVIAN ARMS, 396 WEST 145th ST.

Near St. Nicholas Ave.

Plant and Works : Brooklyn, N. Y.

Telephone Connection

CHAS. HABERMANN

FLORIST

2668 Broadway, Between 101st and 102nd Streets

Telephone Connection

New York

J. BAKER,

BOOTMAKER

Formerly with H. Jantzen Shoe Co.

2710 BROADWAY 2710

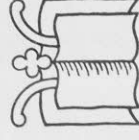
Near 103rd Street

New York

R. GORDON & SON

COAL

FOOT W. 46th STREET FOOT W. 134th STREET



THE Hotel Marseille is both a guest-house and a home. It is a new, ten-story, fire-proof structure, and every story tells its story of luxurious comfort and comfortable luxury.

At the southwest corner of 103rd Street and Broadway, it stands on the highest point of Manhattan Island, on the very brow of the historic old post road that the fathers travelled from New York to Albany. It overlooks the Hudson and the Palisades that stand guard along New Jersey's eastern shore.

It is within two blocks of Riverside Park and Riverside Drive, one of the most beautiful boulevards in the world; within three blocks of Central Park, perhaps the world's greatest playground, the Metropolitan Museum of Art, and the Museum of Natural History. Of a truth, the Marseille stands just where the God-made city meets the man-made city, among the trees and flowers and homes of New York.

The rooms are arranged singly, and en suite, the suites including from two rooms and bath, to four rooms and one or two baths. The interior furnishings and decorations show an artist's taste in color scheme and arrangement. The service is unobtrusive and as perfect as the strictest discipline can provide. And stick a pin in this: one of the requirements of the management is that the hotel shall be kept spotlessly clean from cellar to roof.

Any hotel ought to be able to supply excellent reasons why it should command, over other hotels, desirable patronage. The Marseille can give such reasons. Aside from the comfort of its lounging rooms and its living rooms, it maintains a grill-room and restaurant, than

OVERLOOKING THE HUDSON

BROADWAY AND 103RD STREET
TELEPHONE 3790 RIVERSIDE

TWO BLOCKS TO CENTRAL PARK

Hotel Marseille

TYPICAL FLOOR PLAN



Hotel Marseille

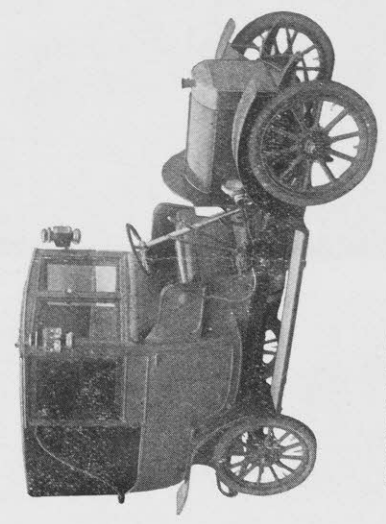


A good digestion to you all; and, once more,
I shower a welcome on you;
Welcome all.

—Henry VIII.

TELEPHONE 5115 COLUMBUS

HEXTER TAXAMETER CAB CO.



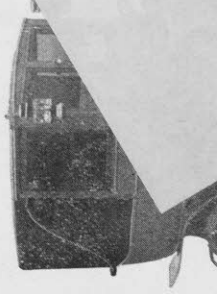
PRIVATE MOTOR CARS
RENTED BY THE MONTH
TOURING CARS FOR HIRE
BY THE HOUR

249-251 WEST 64th STREET
NEW YORK

Sultan Motor Cars Used Exclusively

TELEPHONE 5115 COLUMBUS

HEXTER TAXAMETER
CAB CO.





Hotel Marseille



二月十五日

長金一旅、余り疲勞ヲ感^{こた}故ニ今日一日部
屋^へ引^ひつ^つ就^しリテ休息^し防^は小野君^と朝^あヲ得^えテ
話^わナキ^や夜^や暖^ぬク^くス^ス只^{ただ}二人^にヲ談^だ話^わ中^中供
紐^ひ育^くハ^ハ我^{われ}常^{じょう}、^おキ^き変^へハ^ハ恐^{おそ}レ^レテ^テ来^きレ^レシ^シ外^{ほか}ニ^ニ日^に本^に
ヲ^ヲ一^一天^{てん}為^なス^ス阿^あノ^ノ一^一サ^サモ^モ寧^{ねい}ニ^ニ日^に本^にヲ^ヲ凌^{りょう}キ^キヲ^ヲ
此^こノ^ノ点^{てん}ニ^ニ付^つテ^テハ^ハ我^{われ}常^{じょう}、^あ心^{しん}付^つク^ク所^{しよ}内^{うち}放^{はな}ス^ス事^{こと}有^あル^ル
咽^お喉^{のど}ノ^ノ悪^{わる}キ^きヲ^ヲ三^{さん}太^た、^お恐^{おそ}レ^レテ^テ一^一変^へ部^ぶ屋^えノ^ノ設^{しやう}備^びモ^モ三^{さん}
サ^サモ^モ前^{まえ}シ^しカ^かラ^らズ^ズ殊^{こと}ハ^ハ外^{ほか}ニ^ニ出^でツ^ツル^ルニ^ニ地^ち下^が鉄^{てつ}道^{どう}馬^ば車^{しや}
係^{けい}チ^ちノ^ノモ^モ一^一が^が暖^ぬカ^かニ^ニ為^なリ^リ此^こノ^ノ一^一サ^サモ^モ一^一付^つキ^きハ^ハ我^{われ}常^{じょう}、^あ其^{その}費^ひ
キ^きヲ^ヲト^ト得^えル^ルニ^ニシ^しカ^かラ^らズ^ズ一^一サ^サモ^モ一^一付^つキ^きハ^ハ有^あル^ルニ^ニ

明治二十年二月十六日
 日本銀行
 二月十六日
 明治二十年二月十六日

日本銀行

二月十六日

詳暇ノ假縫ヲ試ニ行キテ午後ハシイフ外及ビ
 口外ノ組
 組合ノ人ヲ訪問傳ノ正金銀ノ行キテ行
 欠一同ノ組ノ人ヲ午後ハ日本銀行ノ結城ナ
 一ノ歌羅巴ヲ經テ日本ノ地ノ人ヲテテ人ノ送別會ノ
 為メホタルニ
 晩餐ヲ食シテ供
 益雄ノ轉機ノ人ヲ不聚漢ヲ
 銘木君ノ事状ヲ依頼
 附置キ三月ノ末ニ至ルニ日比ノ内訪問ガ多ク
 電狀又ニ電流ヲ依頼セシメ日比ハ小石ノ一系
 坂界ノ大花ノ地ノ陳地ノ川城ニ中

日本銀行

二月十七日

今日ハ朝、小野君ト共ニ買物ニ行キ、午後銀河、
来リ候。美子、素子、梅子ノ美ノ衣物ヲ買ヒテ
小野君、托テ送り、召付試シ奉ケル。而テ何レガ
長キトカ、何レガ短キトカ、如何モ風ノ毛ノカ、思召キトカ、
詳細ニヤ、城守方々。美子ト素子、同じ長サノ毛
ノヲ送り、短キノルヲ、出来ノツラキ。

可也。

夜、貞隆来り書牘ヲ隠し候。

明治 年 月 日

日本銀行

二月十八日

紐育ハ常時ハ最モ宴会ノ多キ時節ニテ今日一杯ニ
 テ支那ニ其由ニ小野君リ味ハ交際廣カリし由ニ
 テ送迎会ハ此ノ如クモ多ク今更ニ毎座ノ
 宴会ニ今夜モ水野領事ニ招待シ日本代表ニ
 部ニ系リ候

多く自給あり三万七千トヤリ六十歳以上ノ
後病サレノ様ニ付、又、中ニ一女子高潔ニシテ女ト
シテ女子ニ比シ私物大ケテ至到日本入ノ目ニハ女トハ
見ヘズ何トカヤ一女子、俣米部ノ會長ノヨシ、如ル女子ノ

明治 年 月 日

話に
去年ハ
到
出
事
毛
一
二
三
之
領
事
去
人
〃
日

本、衣、物、有、之、美、治、毛、少、公、花、ハ、上、事、由、有、之、

明日
ハ日東山キノ
郵便ノ出ツル日ニ
云レテ書キ
送リ

毎日自身ノ事ヲ思フ時ニ決シテ忘レ急ムナリ

每日 少 泥 ソ 筆 書 甚 字 一

益雄²¹
小野
辰¹
帰¹¹
近²
汁¹
何¹
雲¹
水¹
以¹

送子可

二月十日 新 奇 吹 比 才 人
一部 3 卷 4

明治 年 月 日

日本銀行

二月二十日

昨夜ノ総領事ノ宴會晚シナリニ爲メト今日ハ土曜日
ニテ銀行ニ行カヌヲ極メテ新ク晚ク近テ寢申候朝ハ
生糸會合會社ノ新井トヤノ人ヲ訪問候午後一時半ニテハ
紐育ノジャパン、ソサイワイニテ小野君ノ送メ会テ紐育市
ノシワヲ付テ始メ有名人十人斗リ申會中ハ盛會ニシテ
切實ニ *Hotel Astor* トヤノ宴ニ有テ食差ハ凡テ日本風ニ
装テ紐育市ノ故我常ニ金ヲ掛ケノ事ニテ候
夜ハ日本俱樂部ニ我ニ爲メテ歓迎會有テ紐育
ニ来テ日本會々ヲ略シ日本人ト交際スルハ煩サ
減、閉ル有テ供日本人ニ限ラズ宴會ハ日本ニテ

明治 年 月 日

11 丑 11 丑 11

日本銀行

厭キタニ要ニ紐着近ヲ来リテ宴会ノ為メモ甚シクテハ
実ニ閉ルニ至リ有テハ一日一杯ニ宴会ニ終リ
72 少及ヒ間々^今暫クフト存供毎晩十^二時頃迄
リ慣レサモ者^ニ此程甚シキハモテハ
寝ノ^ハモ中^ニ夜^ヲ改修

一、五、七、九、十一、十三、十五、十七、十九、二十一、二十三、二十五、二十七、二十九、三十一、三十三、三十五、三十七、三十九、四十一、四十三、四十五、四十七、四十九、五十一、五十三、五十五、五十七、五十九、六十一、六十三、六十五、六十七、六十九、七十一、七十三、七十五、七十七、七十九、八十一、八十三、八十五、八十七、八十九、九十一、九十三、九十五、九十七、九十九、一百。

日本銀行

二月二十一日

日曜日ニ日本に向ケテ旅行ヲ志メトシ新永君、加勢ヲ執
リ、電報車夫婦来リテ登次迄アリ談話爲メ止モ
終ラズ二時頃ヨリ馬車ヲ廻リテ小野君と共に友人ノ沙岡ニ
出テ供西澤人ノチエウエーキ、クラブシー、計ニ紹介セラル
三時頃ヨリヘルトンホテル主草ハリス共に登舎々共ニ改
装バギル小野君ノ交友ニシテ中には愉快ノ人ニ有ク
夜ハヘルトンクリエトヤ、細音ノ金前家ノ人ニ紹介セラル
一日席者ニ銘予、小野、今西、福井夫婦ニ有テ細音
ノ富貴ノ家ニ始メテ入り、宴目ヲ驚カス斗リノ美醜
ニシテ全リ厭ミ成リ

明治 年 月 日

四十一四

日本銀行

市地賣ト云ヒ又全体ノ設備ト云ヒ實ニ自給ノ力云々
日本婦人カ三人モ来リニ實ニ第一毒ノ程見スボクニキ
Eノミノ到後一流ノ人ト實際ノ出来様可キモノ云々
油條トハ一般何十枚並圓ト云フモノ筆收モ有リ増一
尺ノミヤカ

日誌
今日ハ桑日ニテ休ミナリ小野君トロレクブランチ
海外博覧会ニ集リ一時間ニシテ到着セリ
小野君ハモトモリ大碑ナドハ厭ミナリ
ハワイヤ
凡テ西洋凡ルモ建築ヲ羨ミナリ
如ク此ハ一層整頓
シタルモ一層細音ノ有ルノ金銀
亦タル要ナリ
云ハレサニ美観ニ有ル
夜ニ再ビ日本供業部ニ
参事会ナリ
何カ日本食
ヲ喰フテ日本人ニ
遇ワシ
面ズルキカラ
殆ト閉ルナリ
ナリ

日本銀行

二月二十二日

今日ハ桑日ニテ休ミナリ小野君トロレクブランチ
海外博覧会ニ集リ一時間ニシテ到着セリ
小野君ハモトモリ大碑ナドハ厭ミナリ
ハワイヤ
凡テ西洋凡ルモ建築ヲ羨ミナリ
如ク此ハ一層整頓
シタルモ一層細音ノ有ルノ金銀
亦タル要ナリ
云ハレサニ美観ニ有ル
夜ニ再ビ日本供業部ニ
参事会ナリ
何カ日本食
ヲ喰フテ日本人ニ
遇ワシ
面ズルキカラ
殆ト閉ルナリ
ナリ

明治 年 月 日

11 12 13 14 15

二月二十三

通
 リタル
 死
 期
 一
 近
 ワキタル
 白
 覚
 ニタル
 フナリ
 ニナ
 ン
 ン

62

此女子は、徳之山新報に因りて一晩に於
 いて、其の心は、
 明治十一年四月

日本銀行

若し我レニ多少、其社会ニ貢献シ名ヲ為シ家ヲ
 起スヲアリ其ノ大部分ハ母ノ教育ニ在リナリ自分ノ
 幼時井上家ノ一時ハ心境ニ陥リタルトキニ七人ノ幼児ヲ
 膝下ニテ教養スナカク舊園ニテ亦ヲ再興セシ母ノ
 堅固ナル思想ト勇壯ナル精神ハ我々七人ノ兄弟ヲ
 人並ノ独立ヲ得セシメタル要ニシテ十五六才迄テ
 母ノ教育セラルタル状況ハ今因ノ前ニ顕ハレ来リテ
 母ニ甘ヘテ此責、セラルタル幼時ノヲ思出シテ候

(明治二十四年四月一日) 郵便ノ事メ切リ日ニテ今夜十二時
 迄キニ此ノ事状ヲ認メテ

今日ハ我レト花ビノ一時ニ来ル日午御身ノ認メタル

明治 年 月 日

日本銀行

元ノ幸状、接ニヤリ、雄梅子共、金塊一由又歩
 身樓道与阿一、折々、以テ此程花ニキリハ、之ニ
 入浴ノ状、御身力手残、書キワリ、愛ニ、鉄サニヤ
 為サニナドノ事ニ、折々、風雨品ノ方ニ小供ノ朝平ノ元
 愛目前ニ見ル、如リ、有テ、国元ヲ去立セ、以来始
 メテノ樂ニ、接ニヤリ、様中、何カ、締タルトテ、御身ノ
 手紙、如リ、モリナシ、如何、尤、テモ、其ノ日ノ中、事ハ
 書キ綴リテ、市送リ、ナリ、

小供ニモ今少シ海山ニ畫カセテ市送シテ予ハ小供ノ
土産リ三月ノ末ニ日本ニ到省候ヘリ
大碁ニ行カル由何ヲ結構ニ有ク

明治 年 月 日

昨日ハ御身ノ手紙ニ接シ又老母ノ死去ノ報ニ接シテ
喜憂交々至ルヲ三ノ老母ノ死リ到底再会ハ期シ難
カリモ其ノ報ニ接シテ今更ノ如ク感シ難キ人ニ接スルモ厭
ナリ外出スルモ厭ニナリタムモ小野君ノ帰朝スアリ日割ヲナシテ65
同君ノ知人ニ接スルノ約束モアリ且ツ夜ニ車月ノ一日ユテハ晩
餐ノ約束アリ茲ニ母ノ死去ヲ發表シテ引込キトキハ
人ニ遇フノ様合ヲ失シ此後ノ糸玉序在ニ我常ニ新
ハ喜スルヲ故ニ不得止車月四日ユテリ誰人ニモ死リ告ゲ
サルヲ決シテ愉快ノ顔ヲシテ人ニ接スルヲ欲ス不感
服ナレドモ此方ニ於テ此夜ハ例ノ日本ニ来テ有ルナ

二月二十四日

日本銀行

明治 年 月 日

同日：筆畝、牛矢、藤、火折申、虎斑、菰、
11月11日

日本銀行

シワフ氏ノ宅ニ招待ヲ受ケテ供_ニ紐育_ニ金満_ル中ノ
 ニ三ノ中ニ安ヘラレ_ル人_ニ二億圓以上ノ資産家ノ由シ
 ニ其人ノ家_リ *714 Avenue* トヤ_リ町_ニアリ茲ハ紐育ノ金満
 家_耳ノ軒ヲ並ヘタ_リ家_ニ四階造_リノ目ニハ立タサレド
 モ何_カ高_リ凡_ス家_ニ中ニ入_リテ_リ其ノ裝飾
 美_シ端ノ綺麗ナル_ヲ實ニ目ヲ驚_カス斗_リナ_リ ^油 絨_ノ如_キリ
 一_枚何_万弗_トヤ_リモ_ノ數十_枚モ_{アリ}至_リ五_畫セ_リニシ_テ
 實ニ美_事ノ_ヲ有_ク食_事ナドモ實ニ清_崇ノモ_ニ
 驚_キ中_供食_後甚_迄果_腹ヲ受_ケヤ_リ
 今日_ハ晝_ハ各種ノ人_ニ紹_リテ受_ケ夜_リ小_野表_トノ
 交_送ノ被_褥ヲホテル_ハアストルト_ヤ家_ニ宿_キテ_ハ日本人

日本銀行

ヲ招ケル日本人社ト云フモノ日本ニ会社ノ從事スル人ニ西
洋人モ七八名アリ我常ニ美事ノ宴會ニ日本婦人
モ七八人斗リ集リ一皆非常ノ着物モ良シキヲ金モ亦
ニ樹ケテアリ此に到^ル着^ル西洋人ト比較ニナラズ米玉ナドニ
車リテハ余程ノ金ヲ樹ケサレハ到^ル際ニ去車サレフニ
ナリ

此夜 十二時十分ノ際 車ヲワシントントカー半玉ノ首付
系リ日本ノ大使館ノ連中ニ 紹介ヲ受ケヤリ 此ニ至リ
地ニアラスニ 官衙ホ軒ヲ並ベ 至極閑靜ノ地ニ有
ワシントンニ 細看スルニ 此ノ系リノ地ニ 有

日本銀行

二月二十五日

朝七叶吹、ニワシトシニ到着改し、小野君、友人
ヲ誘同シ、又喚び、招カレ、大使館ニ至リ
テ大使始リ、皆々、面會シ、盡ハ松井参事、友ノ馳走
ヲ受ケ、其ノ常地ノ大花者ニ至リ、銀山、石炭、土紙
ノ長、金貨シテ、帰リ、夜ハ小野君、大花時代ノ先生
ニ馳走シ、友ケ夜晩リ、テ面白キ話ヲナシ、宿ニ帰
リ、旅者ニハ日本ノ谷口、海軍中佐ノ誘同シ、友ケ
西屋ノ友人モ、事リテ、旅者ニテ、十一叶吹、テ、話シ、床ニ

艦カ子取「エリヤ」に想馳ぬ所、千姫様一人
「エリヤ」

日本銀行

二月二十六日

朝十時、後車「ワシントン」ヲ出デ、高平大使ノ夕
夜平和會議ノ晚餐會ニ招テテ變ケテ細首ノ来
ル、ト同車ヲ。三時半細首ニ着レ夜ハ七時ヲ平
和會議ノ晚餐會ニ。要領ヲ變ケテ至ル。會ハホテル
「アストル」トナリ、宴ニテ、來會者七人以上アリテ細首ノ
有名ナ人ニ強ド皆集マテ、多クハ夫人連レテ細首ノ
金満赤ノ盛裝ニ。宴ヲ凡ルヲ得テ致シ、仕合ナリ。
次ノ大統領「タフト」、外務大臣「ルート」、英王大使、
日本大使等ノ演説有リ。

明治 年 月 日

朝ニ櫻井大勝ニハシテ謝「茲カヲ臣子ニハ何故況
13111カニ

日本銀行

三ノ此ノ上モ十中結構ノモノナリ日本ニテモ如斯ク閑
キタリハ實際モ年輕ニ出来ムナラント感心ナリ
到リ後御身ノ手紙ヲ二夜愛取リ己、筆皮ヲ保
返シテ讀ミ申候只手紙短カキナリ嘆ス耳三一夜ノ中
ニ二夜モ讀ミタル有リ大確、思ヒノノ最モヨシ
守中ハ只身体ヲ健康ニス外、何等ノ用事ナキナリ
考ヘテ充分ノ保養ナサレバ候之レヲ共ニ日本ノ豪
キモノナリ最モ高潔ノ輩モ衆シク慕サントスルハ
原、候ナリ留守中ノ御身戦務ヲ充分ニ覚悟セシ
後

明治 年 月 日

キルニ敬愛の牛馬ニ其ノ如クナラント欲ハス
「一」カニナラズ其ノ如クナラント欲ハス

日本銀行

二月二十八日

今日ハ日曜ナリ日本ノ友人ニ到省ノ便アリト且其ノ
畫状ヲ送リタルニ其ノ返書ヲ昨寄セ置キタルニ友人ノ内
ニ好ケラレ遂ニ二三本送リタル耳ニシテ終ニ夕刻ニ小野
君ノ友人ヲ日本供衆部ニ蒙取レリ云々此夜ノ客リ
多クハ學者ニテ大衆ノ教授多クハ其ノ如キ付合ヒヨキ
人耳ニ有リ

西洋人ニ日本料理而モ極ク其ノ味一カラサニ料理ノ地宜ハ
果シテ西洋人ヲ惹ハシメ得ニ非哉否ヤ疑問ニ有リ自今ハ
西洋ニテハ矢張り西洋食達カ、勝ニシテ少しモ日本食ヲ
喰フト男ヲ念玉ハ云々

明治 年 月 日

作田ニ百圓十一日廿一也ノ。想此一故地ニナリ可也
二月八日

日本銀行

三月一日

朝小野君二三ノ友人ヲ訪ヒ銀ノ行キ引繼ヲ終リ
タリ此ノ晩ハ正金銀ノ口布人及西洋人ヲ共ニ招キテ
喫餐ヲ供シテ皆々大満足ニシテ英法ノ演説等モ
あきまり自カモ英法ノ演説ヲ望ミ試ミカニ大不
出来ニテ大ニ後悔セリ御一笑ナリ
夜ハ家御ノヲ思ハレ寝ルヲ能ハスヲ喜ビキ
ニ或ハ小供ノトキニ見ル等ニ三時間御身ノヲ耳
事申候

今日ハ御身ノ誕生日ナリ事近ク思出シ候事ニナリ
我身ノ誕生日ナリ故女ノ日ナリ特ニ給葉事ヲ以テ可ク

明治 年 月 日

日本銀行

今日、始メテ独リテ銀、行クテ朝十、叶、日本
 弓ノ事、狀、印、符、戸、一、御身ノ事、大急キニテ、運、讀、シ、夕
 刻、宿、ニ、帰、リ、テ、外套、モ、取、ラ、テ、帽、子、モ、脱、セ、ル、内、ニ、御身
 ノ手、紙、ヲ、讀、ミ、就、ニ、後、ニ、食、事、ヲ、満、ス、シ、タリ、食、付、ト、モ
 何、故、御身、ハ、緩、程、迄、テ、申、錢、シ、タ、リ、テ、穿、テ、サ、ル、カ、御
 身、ハ、疾、業、後、テ、保、善、ハ、戸、一、テ、保、善、以、テ、妨、ケ、ト、モ、
 何、事、モ、ナ、ス、必、要、ナ、シ、殊、ニ、箇、字、ト、ナ、リ、
 義、理、ヲ、ナ、ス、ヲ、必、要、ヲ、隠、メ、サ、ル、ナ、リ、
 礎、ヲ、何、故、ニ、テ、度、々、帰、リ、来、タ、ト、ナ、シ、玉、ヲ、ヤ、自、分、ノ、
 御身、ヲ、思、フ、真、情、リ、御身、ニ、リ、理、解、セ、サ、ル、ナ、ラ、ン、
 差、シ

76

[illegible]

圖書集成

77

[illegible]

日本銀行

大碀^ニ連^レ行^キ保養^セシメ^シタ^シ者^モハ
壽^シ美^ミ子^ノリ^リ如^ク心^配及^リズト有^リ咽^ヲ切^解
リ^リ如^易決^シテ^ハア^リ一^ニ年^後ニ^テヨ^クシ^ヤル
可^リ若^シ切^解ス^ル場^合ニ^テ他^ノ誤^謬少^シ充^分
ヲ^モテ^ハ必^ズ要^スト^モナ^リ

家ノリ 郷去心死ノミシガ、今、東京、帰リ
ナドニテ為リノ必要ハナシ 幕府カ、古殿ニ侍ル
他郷ニアリテ 御身ノト小供ノト 御恩續ケルニハ
御身カ厭ト 男フテ 義理ニテナシワアリ サゾ 厭ナラント
男フテ 誠ニ 奴エサルヲナリ 斯ルニ 義事ナサレ向敷
東京、帰ルニ 六ノキト云フ人カ 何故、用エナキニ大碍ト

明治 年 月 日

大正十一年一月一日
 大正十一年一月一日
 大正十一年一月一日
 大正十一年一月一日

日本銀行

行カサレヤト云
 元多米ナキニ心配ノヲナリ而シ自カモ出立後十日斗

リハ金リ元多米ナカリニ云云云ノ様ナリ又
 多分リ其ノ為ナリ又

叶ム所ナリ云云云ノ様ナリ又
 目ナラズヤ決シテ悲シク我身ニ心配ヲ掛ケ玉フナ

添田氏ニ被ルナリ又
 小野氏ニ被ルナリ又

ノ為メ多ク云レ又ニ紐育ニテリ我身ニ心配ヲ掛ケ玉フナ
 明治十一年一月一日

明治十一年一月一日
 明治十一年一月一日

明治十一年一月一日
 明治十一年一月一日

明治十一年一月一日
 明治十一年一月一日

明治十一年一月一日
 明治十一年一月一日

明治十一年一月一日
 明治十一年一月一日

明治 年 月 日

三月五日 午後十時

此の頃、東京に在りて、
三月四日、日本銀行
に在りて、
三月四日、日本銀行

三月四日

日本銀行

昨夜、家郷ノヲ考ヘ又ハ御身カ何故ニ萬事ヲ放棄
テ一身体ノ健康ヲ勉メサルヤ二月ト云ヘハ年中ノ極盛ノトキナ
ルニ幾度モ大確ヲ得リテ風ヲ引ク極ノハナキヤ其耳ヲ心
痛シテ余リ愉快ニモアラス床ニ就キ申供者後ハ我身ノ云
フ云々克リ味ヒ決シテ後ニ立タヌニ氣ヲ使フヲ
止メ玉ヘ其此夜ハ三井物産ノ福井氏ノ招キテ日本倶楽部
ニ行リ米田ノ金満高ニテ電氣會社ノ東主ニ社長ヲ訪ナリ
コワフイニ夫婦トライスト云フ造作アリ夫婦ニ夜モ快ナリ
西洋ノ宴會ハ骨斗ヲ折シテ少シモ面白クハ厭ミナリノ併シ
之レカ最後ノ宴會ニ召出スル心トナリ

明治 年 月 日

朝早く起キテ十時頃、銀行へ行リ此頃天多曇恒敷カラ

三月五日

日本銀行

三月五日

朝早く起キテ十時頃、銀行へ行リ此頃天多曇恒敷カラ
ス今朝ハ非常ノ大雪ナリ日本ニハ三月ト云ヘハ少し宛ハ暖
カクナル可キ筈ナルニ紐育ハ四月迄テハ余リニ暖カラス急ニ五月
ニハ夏トナル由ニ有之候外ハ中々ニ空ニリ候得共室ノ内ハ
常ニ七十度以上ヲ保ワテ夜ハ寝衣一枚ヲ手紙
ナドヲ認メ候有様ニ有テ間々ニ多量ハ少し恐ルニ及バサ
ル次第ニ有云候

夜ハ食事只一人ニテ十時九時頃ユテ御身ノ手紙ヤ日本
ノ新報ヲ讀ミタルニ睡リ催フニ九時半床ニ就キタリ

明治 年 月 日

三月六日

日本銀行

三月六日

土曜日ナリ午前中、常時開会所ノスパニヤ人ノ画キタル
油絵ノ共進会ニ集リ、宴ニ召掛けテ一人ノ手ニナリテ宴ニ
美事ノモノニテ一牧^何芳^何市^何中^何モ有テ午後、弥永及
逸身^何人トシテ市内及公園ニ散歩シ夜ハ弥永ト共ニ
晩餐ヲ共ニシ夜晩クモテ雑談ヲナセリ
益雄^何ヤ春子ノ風引キハ如何ニタルヤ壽美子ノ目ハ
如何快キヤ紳身モ自ラノ保養トハ供ノ世話ニテ
中ハ骨折ト有、可成ツマツ又ツニ關係セズ兼樂、
日ヲ暮シテ身体ヲヨリシテ帰朝後、樂ヲ充テニテ
吾々モ注意有テシ

明治 年 月 日

三區六區
日本銀行
三月七日

三月七日

日本銀行

日曜日ナリ 朝多 郵船会社ノ三原君来リ午後ユテ
話メ同氏リサイヤムノ政尾氏、妻君、悦美ノ夫ニテ
御業知ノトアリ同氏ノ妻君モ昨年二月、腎臓炎
ニ罹リテ一時ハ危篤ニシテ其為ソ一時米田多市朝セリ
トノヲナリ當時ハ金快ニテ此由ノ由係シ頃日風邪ニテ
お臥シ居ントテ心配障アリ御身モ風邪モ引キテ
心配掛ケノヲナキ様、お為ナリ
午後ハ陈永益自三人多ハドソノ河邊ヤ公園ヲ
三時間斗リ散歩シ夜ハ日田ノ廣瀬貞二ノ弟ナ人
来訪ノ約束アリ二時間斗ノ後帰リ去リ床ニ就ク

四日... 14区カ四

日本銀行

三月八日

月曜日春服ト着ノ外套トテ作ラセテ洋服屋ニ至ル皆
中々、高ク背廣六十弗(一五寸四)外套六十二弗(一五寸
四四)ノモノヲ注文セリ到底知價ノ高カキハ閉口外セリ
追々ニ事務、取掛ラサレテ得ル分滞事務紛々セリ
多ク自巳ノ研究ナリ厭デモ自己ノ研究出来、故
一年斗ノ滞ナラハ他常ノ利益ハナク可キコトアル
ナリ大考ノ先生、依頼シ生キタ^英教授ノ教訓カリス
由キ世ノ者事リ明白ニ毎朝九時ヨリ十時ニ来ル
ナレリ英訳ヲ充テ、迄スヲヤメ、研究スルコトアル
フル故、明白ニ迄スヲ書キテ、秘書長ヲナスナリ
明治 年 月 日 只一人不御ナリ

月曜日 春假ノ書ハ外航タル所ナリ海峽ニ用テ不
三月八日

三月八日

日本銀行

三月九日

今日ハ日本ヨリ書状ノ到着シタル日ナリ故ニ朝ヨリ御
身ノ書状ニ接スルニ果シタルニ他ノ書状ハ来リシニ御
身ノハナシ多ク河津ノ婚姻ニ多忙ナリトナリ
失念シタルナリト云フニ一日千秋ノ思ヒナリ候ナリ
ハルヲ忘レ玉フナリ此ノ地ニ何カ果シタル御身ノ手
紙ヲ果シキモノナリ必ス土曜日に投函スルヲ忘レ玉フ
可カラズ候ナリ午島ヨリ午紙ニ二月十二日ノ日附ノモノニ
御身モ河津ノ婚姻ヲ満スル大確ニ帰リタルヲ
知リタリテ雄吉子ニ未ダ新米ノ梅子ナドモ抄メ
フナキ様梅あん心ナリ子供モ御身モ今少シノ落

明治 年 月 日

川口女子

此日に西村の事務所へ出向うが西村の家の奥の部屋

日本銀行

付キテ保養ナシ可シヤル象硫_{ニキトキ}大碓ト東京
ト、面ヲ余リ往来セズニ小供モ大碓ニ連シテセシ象硫
保養ナシ皮シ小供ノ学校ノ如キリ何シテモヨキモノ
ナリ

手島ノ手紙ヲ家ノ_ト心配ノ_ミシカ_ニ愛リ_フエナカル
可シ充分落付キテ撰シ着シ有堂ノモノナキトキハ今ノ
宗一半年一年住ヒ一事業ハ_ハ支ハ_ハモ_ハト_ハ存
今夜ハ日本_ヲノ新地_ヲ曉リヌラ談_ニ中、供曰奉ノ
フ身思リシ候

嗚_アハ我身ヲ樂シヌ_ニカ_ニト思フ_ヲ何テモヨシ今少シ
手付_ヲ詳シ_ク少事ナ_ニト_ハ小供モ今少_シ海山_ニ

明治 年 月 日 妻カシメテ_ハ收シ

[illegible]

日本銀行

三月十日

今朝モ尚御身カ後レテ配達ナキヤト空頼
ニヤシタニ
元日本君ノ筆狀ハ一モナカリシナリ

今日、帰り途に、書物ヲ四五冊買ヒテ帰リ、西洋ニ來
リテ、何ヨリノ樂ニ書物ヲ讀ムコトヲ別ニ、何人ニ妨ケラレ
、コトナシ充ル、久方振ニ讀ミ、コトノ樂ニテ、云レカ御身
中、小供ト共ニ、暮シテ日本ニ居ツテ、如斯ク生活ヲナスコトヲ
得リ、我常ノ快樂ナラント云ク出シヤリ

毎朝来リ一人コロレビヤ大寮ノ卒業生ニシテ大寮ノ
助教授テ致シ一人ナリ九時ヨリ十時ノ間ニ来リテ自
カ話シテスレバ世ノ人カ苦者ナリ正シ又ハ大寮ナリ
世ナリ

明治 年 月 日

明治三十四年六月二十一日
 日本銀行
 三十四年六月二十一日

日本銀行

訂正するに年々二十五六才に達し交際し易き教
 育見若者なり斯くして五六月を過ぎたる人中多
 数に充ちて来る様子は成り事ニあり

事二十日ハ自今ノ誕生日ナル故に、
 リ可なり来々一ヶ月に亘るが故に、
 ハヒカラミナラス候

御身中子供も三ヶ月に一度位に
 リトリス余り度々見ルに、
 タルモノスリ結構に候

金リ洋服作リテ充ちて、
 用モノ等々年一杯に改修し、
 此月ハ少くも余額を在せし

明治 年 月

此の如く此に止るべき事なり

